



NEW KOMIITO
公明党

2008年7月発行

赤沼やすおの議会だより

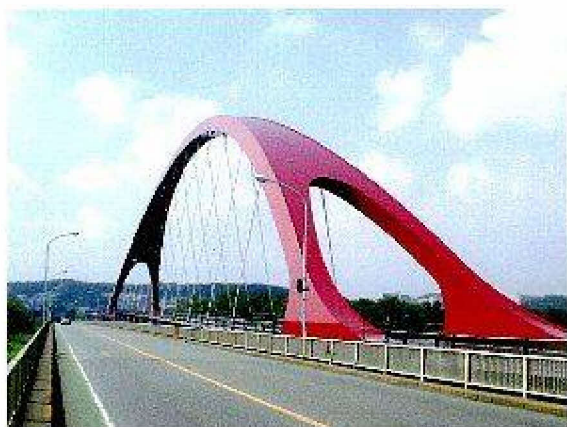
A K A N U M A ' S N E W S

vol.21



発行者:赤沼やすお 住所:郷地町3-8-9

電話:(545)1820 ホームページ:<http://www.akanuma.org>



(左上=田中賞受賞の多摩大橋、右上=記念式典の一場面、上=全線開通した八王子村山線)

JR青梅線中神立体が開通!渋滞解消に期待

5月31日、東京都が整備を進めている多摩南北主要5路線の一つである八王子村山線(昭島都市計画道路3・4・9号線)のうち、JR青梅線中神駅付近で立体交差する部分が開通し、昨秋の多摩大橋開通に続いてJR青梅線中神立体の開通記念式典が行なわれた。

第二回定例会が閉会

平成20年第2回定例会が、6月10日から24日の日程で開催されました。

今議会では、平成20年度昭島市後期高齢者医療特別会計補正予算を含む12の議案などが慎重に審査され、原案通り可決成立しました。

皆様の声を基に一般質問や、各委員会などで質問を行いましたので、その要旨をご報告させていただきます。

歳入確保の取り組み

公有財産の活用について

【問①】公共施設の空き床や事業予定地など低利用・未利用な行政財産の実態把握については？

【答①】廃滅水路など小規模な普通財産は売却処分、未利用地などはイベントなどへの貸し出し等、有効活用に努めている。

【問②】昨年の自治法の一部改正によつて行政財産を民間企業に貸し出せるようになった。昭島市としてどのように取り組むのか？

【答②】単に保有、管理する姿勢から、持てる資産価値を引き出すことも念頭に、有効活用を図る。

【問③】「寄附条例」を導入する自治体が増えている。市民と協働のまちづくりという観点で条例を考へては？

【答③】寄附を通じた市民参加の手

法として、また新たな財源確保の視点から貴重な提言。研究したい。

携帯電話のリサイクル

回収率向上のための取り組み

【問①】携帯電話の普及に対して回収台数が減っている。希少金属を含む携帯電話のリサイクルは必要性高い。市がごみとして回収するケース、回収した携帯電話の処分方法など実態は？

【答①】平成19年度後半から業界団体へ返却する事業を開始。半年で400kgの携帯電話をリサイクル済み。本年度からは有価物として歳入確保にもつなげる。

【問②】市の回収促進への取り組みは？

【答②】「み分別の手引き」で販



売店などへの返却を呼びかけている。

【問③】都が携帯電話の回収促進に向けた取り組みを始めたようだが、具体的にどのようなものか？

【答③】都と業界団体で連絡協議会を設立。広報紙でのPR強化、イベント等での回収を計画中。

国道・河川の権限移譲

昭島市における影響について

【問①】整備・管理の権限が単純に国から東京都に変わるだけか？

【答①】国道16号、多摩川が、仮に都に移管されても影響なしと考える。

【問②】安心安全な街づくりの観点から堤防への街路灯設置を推進すべき。

【答②】以前より設置要望があるが、国交省より「堤防の維持管理に支障ある」ため未設置の状況。堤防区域以外など設置箇所を精査し検討する。

予算委員会での質問

【問】昭島市において長寿（後期高齢者）

医療保険料は国保保険税との比較で、6割の方が上がり4割の方が下がったというが内訳は？

【答】所得の試算で減になった4割の方は約3,800人で増になった6割の方は約5,600人。

【問】上がった方、下がった方の平均額はどのくらいになるか？

【答】全体の試算はないが、一般的な夫75歳妻70歳で公的年金収入79万円、非課税世帯の方の場合で6,700円減。同年齢構成で公的年金収入夫250万円妻79万円の場合では13,900円の増になる。

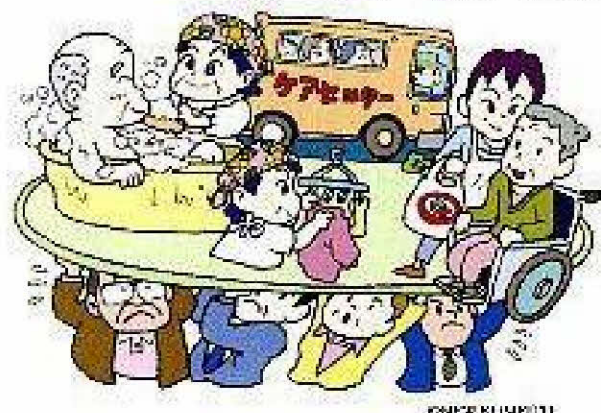
【問】私自身は依然として後期高齢者医療制度の必要性は変わらないと考えるが、世論の「35%は撤廃すべき」という。撤廃した場合、高齢者の医療

制度の持続可能性、現役世代も含めた市民の負担、昭島市の負担はどのような影響が考えられるか？

【答】急速な高齢化に伴い平成15年度の医療費35兆円の内11.7兆円が老人医療費。今後高齢者は更に増え、医療費単価も上がっており、医療費総額は相当増える見込み。

これまでの老人保険医療制度は国民健康保険の歳入の中から拠出金として出しており、老人医療費が増えるほど国保負担が増える。国や都からも支出金、療養給付費として入ってはくるが多くは保険料で支えており国保税も増額せざるを得なくなる。

平成19年度も一般会計から15億円を超える繰り出し金を出している。国保の赤字が増えれば昭島市としても更に一般財源を補填せざるをえない。



立川基地跡地の請願は不採択

今議会に提出された請願第4号

「立川基地跡地昭島地区の昭島地域土地利用計画案を慎重に検討する請願」は、6月19日の立川基地跡地利用対策特別委員会において、慎重に審査された。

請願では、土地利用計画案に対して多くの市民参加を行なうために、財務省への利用案策定期間の延長の申請を求めていたが、策定期間の延長は即「地元の利用計画なし」と受け止められ、「国の自ら利用・処分」になりかねないなど、逆に昭島市にとって不利な状況になることが予想され、委員会としても「不採択」となった。

市議会議員 赤沼やすお通信

No.26 2008.07

<http://www.akanuma.org>

路面の凹凸を補修

福島町3丁目17、24番地南側多摩川の遊歩道は、昨年9月の台風時の増水のために表面の舗装部分が削り取られて凹凸状態だった。地域住民の声を受け、市に伝えたところ、ようやく写真のように改善されて通行しやすくなった。



皆様の声が反映されました

カーブミラーが新設

福島町2丁目3番地付近のT字路は、見通しが悪いため、右左折時に車や自転車と接触しそうになることが度々あった。地域住民の指摘を市に伝えたところ、写真のようにカーブミラーが設置され、見通しが利くように改善された。



ご要望・ご相談はお気軽に

赤沼やすお

電話：(545) 1820

住所：郷地町3-8-9

E-mail: aka_fab4@yahoo.co.jp

今後の『都営住宅』の募集

8月上旬に ①単身者向②単身者用車いす使用者向③シルバーピア④家族向ポイント方式⑤事業再建者向定期使用住宅 を予定

※申込み用紙をご希望の方は赤沼やすおまで・・・
ご自宅にお届けします。

公明新聞

◎日刊：1ヶ月 1,835円(税込)

購読のお申し込みは赤沼やすおまで